

経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県 高松市

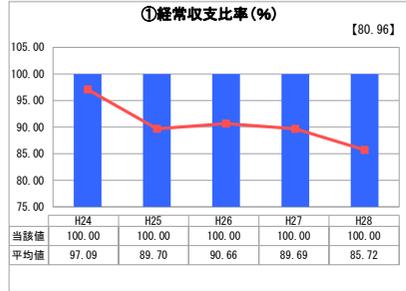
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	82.93	0.03	100.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
429,242	375.41	1,143.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
118	11.52	10.24

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

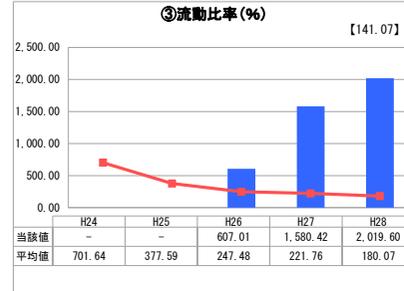
1. 経営の健全性・効率性



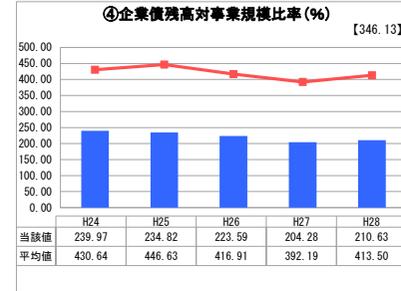
「経常損益」



「累積欠損」



「支払能力」



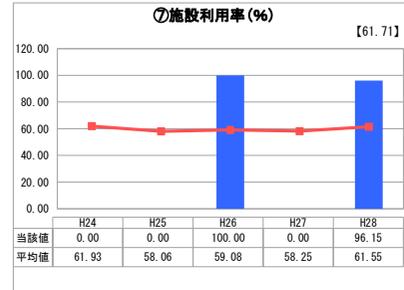
「債務残高」



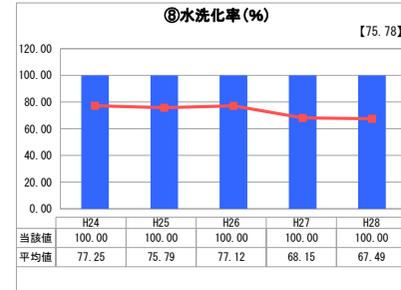
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

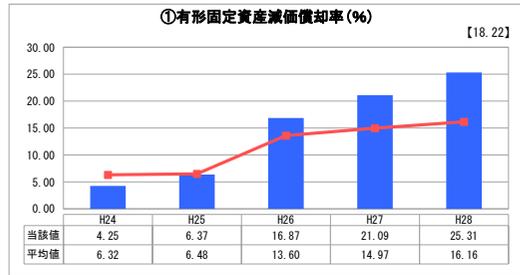


「施設の効率性」

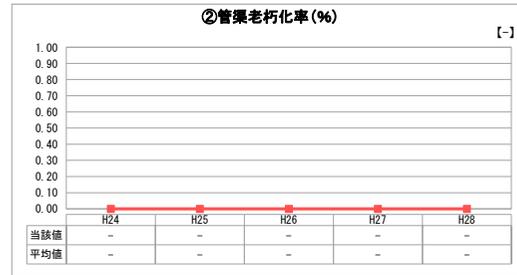


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、使用料で回収できない経費を一般会計からの繰入金で全額繰り入れて賄っていることから、比率は100%となっている。

⑤経費回収率が類似団体平均値より上回っている。これは、保守点検の委託を入札していることなどにより、維持管理費が抑えられており、その結果、⑥汚水処理原価が類似団体平均値を下回っていることが要因であると考えられる。

その他の項目も含め、概ね類似団体平均値より良い数値が出ており、今後もこの状況を維持するため引き続き使用料確保の適正化と汚水処理原価の引き下げに努めていく。

2. 老朽化の状況について

施設整備及び供用開始は平成15年頃であり、耐用年数(30年)の2分の1を経過しているが、定期的にメンテナンスを行い、良好な状態を保っている。

全体総括

特定地域生活排水処理事業の運営は歳入不足であり、その不足額については、一般会計繰入金により収支を合わせている。また過疎化の進んでいる地域のため、今後の利用者数の減少も見込まれており、歳入不足が深刻化する可能性がある。

しかしながら、使用料改定等による経営状況の改善を行うことは、負担の増大から利用者数の減少を伴う恐れがあるため現状では非常に難しく、現状の維持に努めていく。また、個別の合併処理浄化槽であるため、ある一定の期間経過後は個々の利用者へ譲渡するなど、平成27年度に改定した高松市上下水道事業基本計画(経営戦略)を基本指針とした運用を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。